



—東地中海・北アフリカ地域ニュース—

エジプト経済：IMF のラガルド専務理事によるエジプト訪問（23日付 IMF プレス・リリース）

1. ラガルド IMF 専務理事らはエジプトを訪問し、財政支援パッケージについて協議するため、ムルシー大統領やカンディール首相、エッサイド財務大臣らと会談した。
2. ヤセル・アリー大統領府報道官によれば、エジプト政府は同会談において、当初予定されていた 32 億ドルの財政支援借款を 48 億ドルに上積みするよう正式に要請した。
3. ラガルド専務理事は、歴史的な変革の最中にあるエジプトに対し、IMF は最大限協力していく考えであり、エジプト政府の要請に基づいて、経済政策に関する技術的なアドバイスを提供する予定であるとした。
4. ラガルド専務理事は、エジプトは現在、経済の回復と発展および財政赤字の縮小という課題に直面しているとした上で、中小企業支援による雇用創出の必要性を説き、我々にはエジプト政府の努力を支援する用意があると述べた。
5. カンディール首相は、高金利の国内債務を増加させるより、より低金利となる IMF 等の国際機関や外国からの借款受け入れを望んでいると述べた。借款金利は 1.1%になる予定で、39 カ月間の猶予期間があり、5 年以内の返済が求められている。
6. カンディール首相は、同会談では借款に向けた具体的な工程については話し合っていないが、今年 11 月末もしくは 12 月上旬の署名を目指して、協議を進める予定であると表明した。
7. IMF は、エジプト政府の正式要請に早急に返答する方針であり、9 月上旬にはプログラムの内容や財政支援の適切な形態について協議するため、IMF の専門家チームがエジプトを訪問する予定である。

◎本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 公益財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799